

道の駅名称決定！！

平成28年
4月オープン！！



道の駅の名称が決定しました 道の駅「にちなん日野川の郷」

平成28年4月にオープンを目指す道の駅の名称募集したところ、全国各地から183件の応募がありました。県内33件のうち29件が町内からの応募でした。職員による投票や審査会で選考の結果、笹間貴一さん（神戸上）の「ひのがわのさと」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

道の駅登録に向けて

「道の駅」は国土交通省（当時は建設省）により登録された休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設です。

平成5年の登録制度開始以来、全国では1059箇所の道の駅が誕生し、地域の雇用や経済の活性化に貢献しています。今年1月には国土交通省の重点道の駅35箇所の一つに選定され、今後、地域活性化の拠点となり、効果的な取り組みが期待できるとして「重点道の駅選定証」が国土交通大臣から町長に手渡されました。

現在、「道の駅にちなん日野川の郷」の登録申請作業中で、順調にければ10月に県内15箇所目、中国地方では100箇所目の道の駅として正式登録される予定です。

環境貢献ができる道の駅 を目指します

道の駅では販売する商品・サービス・施設の利用、すべてがカーボン・オフセット（※1）を目指しています。

町では企業活動で排出される二酸化炭素（CO2）を森林のCO2吸収量で相殺するカーボン・オフセットの国内取引市場に参加し、企業から購入していただいています。

道の駅で排出されるCO2もカーボン・オフセットし、環境にやさしい道の駅を目指します。また、道の駅で取り扱う農産物や加工品など全品目を対象に、価格の一部を町の森林整備に活用する「寄付型オフセット商品」として販売し、道の駅を利用することですべての人が環境貢献に参加できることをアピールしていきます。

また施設の木造部分には、FSC（※2）認証材を使用し、認証施設の審査を受け、施設のイメージアップを図ります。

（※1）カーボン・オフセット／企業などが削減できなかったCO2排出量のJ-VÉRクレジットを購入して相殺すること

（※2）FSC／地域に適した森林管理基準に基づいて、適切に管理されている森林の世界的な認証制度

